

平成 27 年度事業報告書

| 区 分                | 内 容  |
|--------------------|--|
| <p>1 基幹調査研究等事業</p> | <p>(1) 都市政策に関する調査研究</p> <p>① 総合研究<br/> 「福岡のグローバル競争力向上に関する研究：シナリオ・プランニングを活用した福岡市の都市ビジョン検討資料の提案<br/> (報告書名『発展する都市／衰退する都市』)<br/> 平成 26 年度総合研究「福岡の国際競争力に関する研究」(報告書名『「第 3 極」の都市』) で明らかになった、福岡の「生活の質」と「都市の成長」のグローバルなポジションを踏まえ、「シナリオ・プランニング」の手法を応用して、福岡の持続的な発展戦略の導出について検討した。<br/> 福岡の未来を左右しうる大きな力(キー・ドライビング・フォース)として、「グローバル化への対応」および「イノベーションの実装」を設定し、都市を構成する 6 つの分野ごとに、2 つのキー・ドライビング・フォースに対応していけるか否かによって、発展するシナリオと衰退するシナリオを作成した。これらのシナリオに基づき、セミナーやワークショップを通じて、福岡の持続的な発展戦略について多数の意見を収集し報告書に取りまとめた。今後の福岡の発展に向けた政策議論やプランニングのプラットフォームとして、本報告のフレームワークを提案するものである。</p> <p>② 個別研究<br/> 「福岡市におけるアジアビジネス支援政策のあり方に関する研究」<br/> 従来の海外進出支援策だけではない、福岡市におけるアジアビジネス支援政策のあり方を提言しようとするもので、平成 27 年度は、日本企業の海外進出の動向を主要都市に即して分析し、福岡市企業のアジア進出の特徴、全国における位置づけを明らかにした。<br/> なお、平成 28 年度において、アジア経済の構造変化による関連性の変容、福岡市の個性・魅力を明らかにし、福岡市におけるアジアビジネス支援政策のあり方を提言する予定。</p> <p>③ 共同研究<br/> ア 日韓共同研究(日韓海峡圏研究機関協議会)<br/> 日本及び韓国の計 10 の研究機関で構成する日韓海峡圏研究機関協議会総会へ参加し、研究報告を行った。<br/> ◆研究テーマ「少子高齢化への対応策」<br/> イ ビッグデータ&amp;オープンデータ研究会 in 九州<br/> ビッグデータやオープンデータの人材活用、情報交換、啓発活動などに取り組むため、福岡市、九州先端科学技術研究所と共同で設立した。<br/> 平成 27 年度は、定例の勉強会の他、啓発活動としてセミナー開催を行った。</p> <p>(2) アジアネットワークの形成</p> <p>① アジア交流プラットフォーム形成<br/> ア アジア都市景観賞<br/> 広くアジア諸国の景観を紹介し表彰するアジア都市景観賞を国連ハビタット福岡本部を含む 3 団体と共催で運営し、第 6 回の授賞式を福岡市で開催した。(参加国：5 カ国 参加者：約 70 名)</p> |

| 区 分 | 内 容  |
|-----|--|
|     | <p>イ 研究機関等との交流<br/> アジアの研究機関等と、高齢者問題における教育・研究に関する交流協定を締結した。(締結日：平成 28 年 3 月 5 日、締結研究機関等：レスパティ・インドネシア大学、レスパティ・ジョグジャカルタ大学、インドネシア大学高齢者センター)</p> <p>② 国際視察・研修受入<br/> アジア各国から福岡市の公共施設等の視察・研修を希望する団体等に関する受入れの調整を行った。(20 カ国・地域、29 団体、662 名)</p> <p>③ 日本・アジア青少年サイエンス交流事業 (さくらサイエンスプラン)<br/> 国立研究開発法人科学技術振興機構 (J S T) の助成事業として採択を受けたもので、インドネシア大学を中心とする学生等を招き、日本の先進的介護技術等を紹介した。</p> <p>(3) 情報の収集・分析・加工・発信</p> <p>① 都市情報の収集・分析・加工・発信<br/> ア 「Fukuoka Growth 2016」発行<br/> 都市政策に関わる情報の収集、分析を積極的に進め、見える化を意識した都市データ情報誌「Fukuoka Growth」のデータを更新し、「Fukuoka Growth 2016」を発刊した。<br/> イ 「世界の中の福岡から リレーコラム」掲載<br/> 都市情報を市民の方に、親しみやすく、分かりやすく提供するため、福岡に関する都市情報を「世界の中の福岡からリレーコラム」として、ホームページに掲載した。</p> <p>② 都市政策資料室の運営<br/> アジア地域を含む都市政策関係図書、調査・研究成果、行政資料等を収集するとともに、一般への閲覧・貸出を行った。</p> <p>③ 刊行物の発行<br/> ア 都市情報誌「f U+」発行<br/> まちづくりに関する一般的刊行物として、都市情報誌「f U+」を発行し、市民、賛助会員等へ配布した。(発行部数 第 16 号 2,000 部)<br/> イ 研究紀要 (日本語版) 発行<br/> 研究所の研究成果、国内外の都市政策に関する寄稿等を掲載する研究紀要の日本語版を発行し、大学、研究機関、賛助会員等へ配布した。(発行部数 第 17 号 550 部)</p> <p>④ ホームページの活用<br/> 研究所の事業概要及び研究成果をホームページに掲載し、インターネットを通じて情報提供した。</p> <p>⑤ 都市セミナーの開催 (6 回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「福岡のグローバル交流拠点形成」(平成 27 年 6 月 29 日 参加者：72 名)</li> <li>・「超高齢社会どう描く福岡のシナリオ」<br/>(平成 27 年 10 月 1 日 参加者：151 名)</li> <li>・「チャレンジするアジアの都市景観」<br/>(平成 27 年 10 月 27 日 参加者：70 名)</li> <li>・「グローバル都市“FUKUOKA”の未来シナリオ」<br/>(平成 27 年 11 月 18 日 参加者：114 名)</li> <li>・「データドリブン社会の到来」(平成 28 年 2 月 22 日 参加者：76 名)</li> <li>・「グローバル人材活躍型都市形成に向けて<br/> ～SNS による外国人留学生の就職チャレンジ支援～」<br/>(平成 28 年 3 月 16 日 参加者：67 名)</li> </ul> |

| 区 分    | 内 容  |
|--------|--|
|        | <p>(4) 人材の育成</p> <p>① 市民研究員受入れ（6名）<br/>市民から研究員を募り調査研究を行った。<br/>◆募集テーマ「アジアの先進モデル都市・福岡のまちづくり」</p> <p>② 会員研究員受入れ（2名）<br/>賛助会員や市職員から研究所のリソースを活用しながら研究を希望する者の活動を支援した。</p>   |
| 2 受託事業 | <p>受託研究等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡市版地方人口ビジョン検討に関する調査・分析業務委託</li> <li>・国際的教育環境の向上及び市立高校改革に関する調査検討業務委託</li> <li>・福岡市総合計画データ集等作成業務委託</li> <li>・「校区データ集」作成等業務委託</li> <li>・イノベーション提案の仕組みづくり検討業務委託</li> <li>・「校区ビジョン」策定のためのワークショップ企画・運営等業務委託</li> <li>・福岡市アクティブシニア創業・就業支援業務委託</li> <li>・福岡市農山漁村地域内における活性化事業ポテンシャル調査業務委託</li> <li>・スタートアップ支援に関する調査委託</li> <li>・福岡地域戦略推進協議会事務局業務</li> <li>・平成27年度「機能統合型コミュニティ形成に係る研究全体統括およびサポート技法の開発評価に関する研究」における事務業務</li> <li>・市民フォーラム参加者アンケート等自由回答欄意見の整理等業務委託</li> </ul> |